

- 問1 1543年、九州の南側に位置する種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. この武器は高度な技術が必要だったため国内での製造ができず、終始輸入に頼っていた。 | 2. この武器の伝来と同時にフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が日本に広められた。 | 3. この武器は弓矢と呼ばれ、従来の騎馬武者による一騎打ちをより重視させるようになった。 | 4. この武器は鉄砲と呼ばれ、その後の戦国時代の戦い方を集団戦へと大きく変化した。 |
|---|--|--|---|
- 問2 戦国大名が「分国法」を制定した主な背景と目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 海外との貿易を独占し、キリスト教の布教を認めることで南蛮文化を取り入れるため。 | 2. 将軍の命令を全国に徹底させ、守護大名の権限を制限することで幕府の権威を取り戻すため。 | 3. 朝廷から与えられた守護としての特権を誇示し、伝統的な荘園領主の権利を保護するため。 | 4. 領内の武士や農民の行動を統制し、領国を一つのまとまった組織として安定させ、他勢力との戦いに備えるため。 |
|--|---|--|--|
- 問3 ルターが始めた宗教改革において、彼はキリスト教徒が信仰の根拠として最も重視すべきものは何であると主張しましたか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 聖書 | 2. 免罪符（贖有状） | 3. ローマ教皇の命令 | 4. 教会が定めた儀式 |
|-------|-------------|-------------|-------------|
- 問4 15世紀末のヨーロッパでは、肉の保存や調味に不可欠な香辛料をイスラム勢力を介さず直接入手することが求められていました。この背景の中、ポルトガルの支援を受け、アフリカ大陸南端の喜望峯を回りインドへ到達する航路を切り開いた人物は誰ですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|------------|-------------|
| 1. コロンブス | 2. マゼラン | 3. マルコ＝ポーロ | 4. バスコ＝ダ＝ガマ |
|----------|---------|------------|-------------|
- 問5 フランシスコ＝ザビエルによる日本での活動に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 種子島に漂着し、領主の種子島時堯に鉄砲を伝えた。 | 2. 織田信長と会見し、京都での布教と南蛮寺の建設を許された。 | 3. 大名らに勧め、天正遣欧少年使節をローマへ派遣させた。 | 4. 1549年に鹿児島へ上陸し、キリスト教の布教を始めた。 |
|-----------------------------|---------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
- 問6 鉄砲の伝来がその後の日本の戦い方や社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。 | 2. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。 | 3. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。 | 4. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。 |
|---|---|--|---|
- 問7 戦国大名が「分国法」を定めた目的や、その内容に共通する特徴として最も適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 家臣同士の私的な争いを禁じ、大名の強力な権限で領国内の秩序を維持すること | 2. 鎌倉幕府が定めた武士の慣習を全国一律に適用し、朝廷の権威を守ること | 3. キリスト教の布教を制限し、特定の寺社を保護して領国内の思想を統一すること | 4. 江戸幕府の許可を得て、大名同士の婚姻を制限し、軍事力を抑え込むこと |
|---|--------------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問8 戦国大名の朝倉氏が定めた「城郭の構築に制限を設ける規定」や、伊達氏が定めた「年貢を納めない農民への処罰に関する規定」など、当時の大名が独自に定めた法典が持っていた共通の目的として、最も適切なものはどれか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 領国内の秩序を安定させ、軍事・経済の両面から支配体制を強化すること | 2. すべての裁判を天皇や公家が行うという原則を確立すること | 3. 土地をすべて公有とし、農民に平等に配分して税収を安定させること | 4. 室町幕府の將軍から授かった権限を、領民に広く知らしめること |
|--------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
- 問9 16世紀の記録において「長さ二、三尺の筒状の道具で、火を放つと雷のような音がする」と描写された武器が、日本の築城技術に与えた影響として正しいものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 鉄砲による火災を防ぐため、城の周囲に広大な水堀を作るのをやめ、空堀が主流となった。 | 2. 鉄砲の射程距離を避けるために、城はすべて人里離れた険しい山頂にのみ築かれるようになった。 | 3. 鉄砲の威力に対抗するため、高い石垣や厚い壁、複雑な堀を備えた城が築かれるようになった。 | 4. 鉄砲の重さに耐えられるよう、城の主要な構造物がすべて巨大な岩石のみで作られるようになった。 |
|--|---|--|--|
- 問10 戦国大名による領国支配の実態について述べた文として、当時の法律の内容や背景から考えて正しいものはどれか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 伊達氏の法典では、農民が年貢を納められない場合に備え、納税を免除する権利を認めた。 | 2. 朝倉氏の法典では、代官の配置や城郭の制限を通じて家臣の勢力拡大を抑えようとした。 | 3. これらの法律は、全国の戦国大名が協議によって作成した全国共通のルールであった。 | 4. 分国法においては、武士同士の紛争はすべて室町幕府の裁判所に委ねるよう定めていた。 |
|--|---|--|---|
- 問11 戦国時代において、下の身分の者が上の身分を圧倒する「下剋上」の風潮が広まった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 幕府が強力な中央集権体制を確立し、地方の武士に直接命令を下すようになったため。 | 2. 農業技術が向上したことで農民が完全に自立し、武士による支配が消滅したため。 | 3. 朝廷が新しい官位制度を導入し、能力に応じた地位をすべての人々に与えたため。 | 4. 応仁の乱によって幕府の支配力が弱まり、各地で実力による領国支配が行われるようになったため。 |
|--|--|--|--|
- 問12 戦国時代の甲斐国（現在の山梨県）を治めた武田氏が定めた「甲州法度之次第」のように、各地の戦国大名が領国支配のために定めた法について、その特徴を説明したものとして適切なものはどれか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 朝廷が定めた律令制度を復活させ、中央集権的な国家体制を再構築することを目指した。 | 2. 鎌倉幕府が定めた御成敗式目をそのまま引用し、全国一律の公平な裁判を保証した。 | 3. 家臣同士の私的な争いを禁じる喧嘩両成敗などの規定を設け、大名による裁判権を強化した。 | 4. 全国の公家を統制し、儀式や行事のあり方を細かく規定することで天皇の権限を制限した。 |
|---|---|---|--|
- 問13 会津地方を治めた蘆名氏や伊達氏が活躍していた日本の戦国時代において、世界で同時に起こっていた出来事として最も適切なものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を創始した | 2. ドイツのルターが聖書に基づき教会の腐敗を批判した | 3. アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が勃発した | 4. フランスで市民が自由と平等を求めて革命を起こした |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|